

スマートフォンアプリを作ってみよう

2019年8月6日（火）豊田高専 情報工学科 情報基礎実験室において、情報工学科の教員および学生による公開講座「スマートフォンアプリを作ってみよう」が開催されました。

本講座は、(中学生)を対象とした講座で、一人一台ずつパソコンとスマートフォンを使用してアプリケーションの作製を行います。本講座は応募が殺到すると予想されたので、1日に2回の講座を開いて対応しました。しかしそれでも、定員の8倍近くの応募がありました。少しだけ定員を増やして多くの生徒さんに体験してもらうことにしましたが、たくさんの方が抽選から漏れてしまいました。

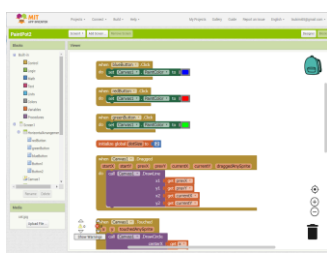
本講座ではスマートフォンアプリの開発環境としてMIT App Inventorを使います。これはブラウザ上で開発できるもので、今流行のScratchと同じ感覚でアプリを作ることができます。最初に簡単なアプリを作って、使い方を覚えます。その後は少しずついろいろな機能(ボタン操作、色の変更、線の描画、写真撮影)の使い方を覚えて、アプリに組み込みます。最後に完成したアプリを使って、写真を撮ってお絵かきを楽しみました。

また、早く出来た人は新しい機能を追加したり、別のアプリ(ピンポンゲーム)を作ったりしました。

スマートフォンのアプリを作るのは難しいと考えていた受講生たちも、簡単に作ることができて非常に驚いていたようです。家でも簡単に作ることができるので、帰ってから新しいアプリを作っている受講生もいることでしょう。



アプリの画面設計



プログラム作製



簡単なアプリの作り方



少し複雑になってきました



みんな頑張って作っています



修了証を受け取ります